

201305-06 ベルギー・オランダの旅

5月30日（木）

福岡空港 21時発の JAL で羽田へ向かうが到着便が遅れての出発となり、さらに羽田空港到着便の混雑にて到着は何と 23時10分。

国際線ターミナルへの移動は乗り継ぎバスで行ったが乗り継ぎの時間には余裕が有る。すると、何とパリ行き JAL も機材の準備の都合で搭乗が遅れるとのアナウンス。パリ到着時間が心配だ。

20分ほどの遅れで飛行機は動き出した。出発後1時間半ほどして軽食が出てその後就寝するがもいつもの日本時間には眼が覚めたので後6時間はかかりそう。やむを得ず映画を見て過ごす。

パリ時間午前3時前に朝食が始まったが軽くしか食べられない。窓は閉めたままで外の様子は解りにくいが明るいようだ。

5月31日（金）

パリのシャルルドゥゴール空港には5時40分に到着！遅く出て早く着いた。空港は広いので歩かされ、早朝なのに並んで入国手続きが済む。荷物を受け取って歩いて、SER（電車）乗り場に到着。自動販売機での切符の購入方法は英語表示が有り、比較的容易であるが9.5ユーロもしたかな？と思い一端購入を躊躇したがカードにて無事購入。AMEX は使えなかった。

パリ北駅の地下鉄駅ではホームから駅舎の出口まで結構歩かされる。前回宿泊した駅前のホテル前を抜け東駅へ歩く。東駅には7時40分に到着で予定より相当に早く、駅前のレストランにて朝食を少し食べた、

出発の15分前にプラットフォームの番号が表示され乗車、予定通りに発車するが車内はビジネスマンが多いように思われる。曇天から小雨へと天候は悪化。途中駅でどんどん下車し、Luxembourg 到着時はガラガラであった。

3番線プラットフォームの北の端に有人の手荷物預かり所を発見、コインロッカーは盗まれるとの情報が有ったのでこちらを利用する。最も鍵を掛けないで預けてしまったのでこちらも若干心配ではある

が。

霧雨の駅前に出る。傘をさして歩き始めがこれからの天気が心配になる。予定通り市の中心部へ向かうが中心部までは近いのでバスの路線名を調べるのが面倒で雨は予測せず調べていなかった。

アドルフ橋を渡って中心部に入るが旧市街は峡谷（ペトリュックス溪谷）と台地から出来た独特の地形である。河岸は絶壁で良き被写体となっている。写真を撮りながら憲法広場やノートルダム寺院などの有る中心部を歩く、その後世界遺産にも登録されている穴グラだらけのポックの砲台を見て回る。



ポックの砲台は断崖絶壁に有り見晴らしは良く峡谷の景色がすばらしい。多数のアーチに有る鉄道橋も架かっておりちょうど電車も走り抜けて行った。

霧雨も続くし歩き疲れたので谷底に降りるのを止めて台地上を峡谷沿いに戻り、来たときの

手前の高架橋を渡って駅へ向かう。13時半過ぎに駅前のパン屋さんのカフェに入りサンドイッチを食べ終え駅舎へ戻る。14時20分のブルッセル行きのICが有ったのでベネルックユーロパスのバリデートを済ませ、荷物を受け取り乗車。

定刻に発車するも50分ほどの駅に停車すると多くの乗客が下車した。ルクセンブルグの最後の駅だから？と聞いていたら中年の紳士が「ブルッセル？」と聞いて来たので「イエス！」と答えたら「ここで乗り換えだよ」と教えてくれた。良かった！その後車掌も教えてくれたが親切は、特にアナウンスの解らない海外ではうれしい！！

ヨーロッパの田園地帯の典型と思うが丘陵の畑作や放牧（乳牛の放牧も多い）の間に峡谷や街に森が所々に見られる。所々で線路の改良や増設の工事が有っていて、離合待ちなども有っていた。

途中で雨も上がり、ブリュッセル南駅には予定通りに到着、駅前のibsホテルにチェックインする。早速各種電池の充電を開始してシ

シャワーを浴び、ヒゲをそり、洗濯を済ませ一休みする。パソコンでメールチェックをするが受信しない！メールアドレスの再設定をいろいろやってみて何とかASAHIネットのメール受信は可能となった。



19時半過ぎに食事をかねて有名な市中心部の広場へ向かう。地下鉄やトラムも有るがセントラル駅まで列車で移動。ユーレイルパスの有効利用である。

ブリュッセルの中心広場（グラン・プラス）はさすがで立派で中世の建物に取り囲まれており、夕日のあたる金色の装飾が有る建物は輝いていた。一通り撮影し、



もう一つの目玉、小便小僧を見に行く。まー！小さいこと。小さいとは書いてあるがねー！である。記念撮影をしている人々を撮影する。

広場に戻って再度撮影し、広場の建物の地下にあるレストランに入るがドーム屋根の穴蔵のレストランであった。観光客に有名なベルギー料理の店でお客は多く



一人で大丈夫かなと思ったらすぐに案内された。座った席の横は何と日本人のアツベクさん、観光で到着したばかりとのこと。別の席にはビジネスマンと思われる3人ずれの日本人が居たのでびっくり。5、60人程度のレストランに日本人だらけである。その

ビジネスマンの一人が擦れた世界の歩き方を持っていたので本の影響は大きいな！と思った。

グラスビールを2杯飲んでウサギのビール煮を苦労して食べて31.4ユーロであった。まずくはなかったがおいしくもなかったが話の種である。

セントラル駅への途中になぜかスペインの有名はドンキホーテの銅像があり、これを写真に撮って列車にてホテルに戻ると22時ちよっと前で、すぐに就寝。

6月1日（土）

3時40分起床、良く寝たー。トイレを済ませ例によって日記を付けて時間を過ごす。

8時になり部屋を出て朝食へ駅に向かうが寒い！！吐く息が白い！何か暖かい着るものが欲しくなる。

駅構内でパンとコーヒーの朝食を済ませ北駅へ移動。北駅構内に鉄道博物館が有るも2010年以降閉館中とのことだが一応行ってみる。

北駅構内をうろつくがそれらしき施設は見つからず案内標識も無いので9時20分発の列車にて本日の目的地 **Mariembourg** を目指す。**Charieroi Sud** で乗り換えであるが乗り継ぎの列車迄は時間があるので **Charieroi** の市内を暖かい着る物を探しながら歩く。

駅前には整備されバスやトラムの駅はきれいになっているが川を渡るとまるで東欧圏の寂れた街の感じがする。店は閉まり、建物はくずれ掛けている。そこを抜けると整備された歩道や建物の市街地でデパートもあった。

デパートや駐車場マーケットを覗いたりして時間をつぶし駅に戻り、昼食にパンを食べ、11:54 発の列車にて **Mariembourg** へ向かう。2両のディーゼルで一等車も車両の一部に数席分ある。欧州は多くの鈍行列車にも一等車の席が確保されている。最も椅子は同じものでスペースが有るだけ！ではあるが。

森林地帯や丘陵地帯を抜け盆地？の平原に出ると目的地であった。途中一等車の席を休憩場所に使っている（多くの列車で車掌は一等車の席を使っている）女性の車掌が話しかけて来てたので **Marinbourg** の駅で降りると歩いてゆく方向を指差して見送ってくれた。

目的の CFV3V 鉄道の駅までは駅前を出て道路を左折して進むと案内標識があり、矢印に従うと徒歩10分少々で到着した。すでに蒸気機関車は蒸気が上がっており整備中であった。さらにドイツの大型機関車や動くのかどうか解らないようなSLやDLの機関車や客車、貨車がいろいろと置いてあった。



早速写真を撮って良いか確認し周りをうろついて撮影を開始する。本日は一往復の運行なので乗車しての往復なので停車中の列車を一生懸命撮影する。途中で先発運行されたディーゼル車が戻って来たがこれも旧式ですばらしかった。

やがて乗客が徐々に集まり、車両への乗車が始まると新婚さんが花嫁衣装でやって来て車両への乗り降りのシーンを撮影しだした。記念アルバム用？結婚式のスライド撮影なのだろうか？お嫁さんは相当に年上の様で政略結婚では？と思われた。

定刻に発車。幸いに両側が空いた席が確保できたので走行中は例によって左右行ったり来たりだった。途中の踏切すべて列車が一旦停止で新米の機関助手が走って車両を止めに行く。この路線は廃止路線なので途中駅の駅舎も廃屋で回りに接近しないように外柵で取り囲んであった。



終点 Treignes 駅では新しいミュージアムが出来ており、有料で所有車両や模型、切符や駅職員の衣類などの資料が様々展示してあった。中のショップではビールや軽食の販売も有っておりジュースを飲んでひと休み。一時間の折り返し時間をつぶす。

帰路は周りの席がいっぱいで座ったままで動けず、睡魔に負け居眠りをしながら出発地まで戻った。駅で再度乗客の下車風景を撮影



し帰路につくが列車での訪問者は間違いなく私だけであった！

順調に戻り、セントラル駅まで行き、ベルギー料理店でステーキを食べたがやはりおいしくなかった。ビール二杯とステーキで31ユーロ。肉は国産に限りますね！最もソースはうまかったが。

食後レストランの前のチョコレートショップでチョコレートを買、ゴディバのチョコショップではチョコレートアイスクリームを食べてホテルへ戻り、充電をし、シャワーを浴び、洗濯して就寝。

6月2日（日）

4時半に起床。例のパターンで、ニュースを見て日記を書く。天候は快晴である。予定をこなし駅で朝食をすませ本日はパスの利用しない日なので乗車券を購入する。

シニア割引で **Brugge** までが往復で6ユーロなり。ICで1時間の距離である。ちなみに帰路 **Eekio** から **Gent** まで普通で30分の距離が通常で購入したら4.2ユーロだったのでいかに安価か解る。切符を買う手間と時間、それに2等車のみをどう考えるかだね。

まずは席を取ることを考え一つ手前のセントラル駅へ向かう。当然一駅なので検札は無いつもりであったがなんとギリギリで車掌がやって来て「列車が違う！」と言ったので知らん顔をして驚いた振りをして列車の乗り換えを教えてもらった。車掌の携帯品の中に時刻検索が出来る装備があり列車のホーム番号まで表示されていた。

無事に乗り換えたが駅構内の紙に張り出している時刻表は2番線、車掌は4番線を指示していた。電光掲示板で確認すると4番線が正解であった。そうして乗車した列車はがらがらであったので肩すかしである。なお、セントラル駅と南駅の間で2番ホームの線路工事をやっていた。

Gent 駅のみ途中停車で **Brugge** に約1時間で到着。早速駅舎を撮影後に市内へ向かう。中世の町並みを残した幅の狭い石畳の街で車



の走行音がうるさい。まずは中心広場にある鐘楼へ向かう。広場では朝市なのかテントの屋台と催し物の舞台の準備が有っていた。また、観光客向けの馬車が頻回にやって来た。

9時半開場で45分頃に着いたら10名ほどの列が出来ていた。

シニア6ユーロにて入場。通常は8ユーロなり。階段を上るが狭く



急な螺旋階段できついし、すれ違いが大変である。最上階からの景色は快晴の天候にも恵まれたためも有りすばらしく苦勞して上る価値は有ると思うが大変！！降りてくるとチケット売り場の行列は相当に長くなっており日本人の団体さんも並んでいたが

離合を考えると時間がかかりそうである。時間が早くて正解であった。



広場で写真を取り、その後ぶらぶらと街中を抜け、運河に出てからは運河に沿って写真を撮りながら歩いて回る。運河には瀬回に遊覧ボートがやってくるが運行会社は5、6社ぐらいも有りそうだ。

ゆっくりうろついて駅前に11時40分頃到着。駅前のレストラ

ンに入りラザーニャを頼んだ。これはおいしかったがチョット困った！何せ熱い！バスが12:38の予定だったので切符を買うことを考えるとゆっくり食べられなかった。

急いで食べ終え駅前のバス停に行くと12:38のバスが無い！日曜日は大幅に運行便が少なくなっていたが幸にも12:56発の

バスがあった。これだと目的の列車には間に合うので慌てず駅構内でしばし待った。



予定時刻にやって来たバスで **Maldegem** へ向かう。駅前のバス停がどこか心配だったが目の前を蒸気機関車が通り過ぎたので無事に下車。早速切符 10 ユーロを購入し構内へ。列車の発車まで 30 分ほどあったので蒸気機関車はもちろん

車庫なども十分に撮影できた。



定刻に発車するも乗客は私を含め 5、6 名であった。今年の運行を開始したばかりだからだからであろうか。まずは **Balgerhoem** までの往復である。途中の踏切では列車側が一端停止である、滅多に走らない保存鉄道ではやむを得ないのだろう、

Balgerhoem 到着直前に運河にかかる昇降橋があった。



15 分間の折り返しだったが何と折り返し線が無いために後から DL がやって来て引き込み線を利用して客車の出し入れをして蒸気機関車を付け替えていたので戻りは当然逆行の運転であった。

Maldegem まで戻って一時間待つが、このまま乗車での往復では撮影が十分出来ず不満なのでバスの時刻を調べたらうまい具合に **Balgerhoele** に先に行けることが解り、早速バスで **Balgerhoele** へ先行した。

昇降橋は駅からすぐなので見に行くで使用されてなくレールは固定されていた。この昇降橋をバックにやっ

て来た蒸気機関車を撮影し列車に乗車、Eeiko に着くと、またまた折り返し線の無い駅で Balgerhoele と同じ手順での蒸気機関車の付け替えを撮影し、発車風景を見送ってこの鉄道訪問を終えた。

Eeiko から列車で Gent 経由にてブルッセルへ戻る、ホテルで洗濯、休憩してホテル近辺のセルフサービスのレストランへ行くが大不正解！ホテルのレストランでビールを2杯飲み少々食べて部屋に戻り、就寝。

6月3日（月）

午前3時に目が覚めたが再び寝るがなんと6時直前まで寝ていた。大急ぎでニュースをチェックし昨日の日記を書くと7時15分。洗面し身支度を整えると7時45分ですぐにチェックアウトして駅へ向かう。

駅ではパンとコーヒーの朝食を済ませ電光掲示板を見ると日本で調べたい列車が無い！壁に貼ってある紙の時刻表と電光掲示板を比べ8：16発のICで良いことが判明した。ギリギリなら慌てたことだろう。

平日で駅構内は混んでいたが始発のICでガラガラにて出発するが列車の中の寒いこと！外も寒いのだろうか曇り空である。

Den Haag 行きのICできわめて軽快に走る。新線？と思われるほど直線が多い路線であった。Rotterdam を経由して終点で下車、おなじホームでアムステルダム行きを待つが寒くて薄手のダウンコートを身に着けた。それほどに寒いのに半袖シャツ姿の人も多い。

アムステルダム行きに乗り換えた後でユトレヒトの交通博物館について調べていると何と月曜日は休館日ではないか！それで、ユトレヒトの地名から浮かんだのがクローラーミュラー美術館である。少々では行かれないゴッホの絵画収集で名前を遥か昔に知っていた美術館で国立森林公園の中にある。これ幸いに訪問を決める。

アムステルダム駅で下車し荷物を預けるつもりでホテルに行くところチェックイン可能だったので直ぐに手続きを済ませ、荷物を置いて出かける。駅で美術館のある De Hoge Volume への時刻を携帯電話の 9292.nl で調べ列車に乗る。Ede-Wangeningen 駅前でハンバーガ

一を大急ぎで食べてから108番の13:41発のバスに乗車、乗る際に106番のバスへ乗り換えることを告げたらチケットを2枚（先のバスのチケットも同時に販売）くれた。若干遅れ気味で乗り換え時間を気にしていたら運転手が携帯電話で連絡を取ってくれていた。Otterloで乗り継いだバスに乗る際に「美術館前まで」と言うのと「月曜日は休みだよ」えっ！！絶句である。余程引き返そうかとも思ったが折角ここまで来たのでせめて国立公園の森林を見て、美術館の建物も見て帰ることにする。

この時にもう一人のおなじバスから乗り換えた男性の乗客が英語で通訳をしてくれ、その後旅行の目的を聞かれたのでSLが大好きでHoornのSLを尋ねて来た、と話すとApeldoornでも時々SLが走っているのをWebサイトで調べたら良いと教えてくれた、さらに公園の入り口で下車し、入園チケット（公園は入園料が必要）を購入するが心配なようでチケット売り場まで付いて来て購入が無事終了するのを見守ってくれた。しっかりお礼を言って分かれる



その後無料の自転車で公園内を走るがこの自転車が何とハンドブレーキの付いていないタイプであった。私は昔乗ったことが有ったので直ぐに利用できたが経験の無い人には戸惑うことであろう。もちろん美術館の前にまで行き写真を撮った。セルフタイマーで自分

も入れてやって来た記念撮影である。

公園のビジネスセンターで自転車を乗り捨てバスにて Apeldoorn へ向かうが途中の乗り換えバス停で約50分の待ち時間があり、コーヒーショップでケーキセットをいただく。

Apeldoorn へ移動し16時半過ぎに到着、どうしようかと駅の時刻表を見ていると、何と先ほどバスの車内で話をした男性が肩を叩いて話しかけて来た。びっくり！で、ここ Apeldoorn から Zutphen まで SL が走るのだと路線図で指差して教えてくれた。またまた感謝をして分かれる。

まっすぐ Amsterdam に帰るにはまだ早いので列車の乗車距離を増すために Deventer 経由で Zwolte へ向かう。それから Amsterdam へ引き返すことにする。いずれも順調にほぼ定刻の運行であった。景色はともかく平坦で所々に運河があり、意外と大きな木の生えた森林が有るのに驚いた。市街地はすべて高架になっており万が一の堤防決壊時の避難場所かと思った。Zwolte からの列車は走行スピードの表示が有り最高 130 Km を超えていた。

Amsterdam 中央駅に 19 時半に帰着。そのまま夕食にレストラン ニュードリウスに向かう。今月のコース料理を注文。ビール二杯を飲んだが食事のスピードが久しぶりに大変遅かった。3品のコースで1時間半掛かって食事が終了、39ユーロなり。ホテルに戻り洗濯をして就寝である。日記を少々追加して寝た。

6月4日（火）

3時過ぎに目が覚めしばらく起きていたがその後うつらうつらしていたようで携帯の目覚ましに起こされた。直ぐに朝の準備を開始する。このホテルは WiFi 接続が有料（24 時間 5 ユーロ）でチケットの購入を忘れていたので今朝はネット接続が出来ず、ニュースチェックは夜に行うこととする。

朝食込みなので7時になったら直ぐに出かける準備をして降りてゆく。朝食はチーズやソーセージ、数種類のパンなどが有り、しっかり食べられた。

朝食後駅前の案内所で市内交通の一日乗車券を購入し、早速トラム 14 番に乗車、マヘレの跳ね橋を見に行く。が、場所が違っていたが Hoorn へ向かう列車の時間が迫っているので直ぐに中央駅まで引き返す。

8時39分発の IC にて Hoorn へ向かう。9時12分に到着、時間があるので Hoorn 市内を歩き始めるが寒い！メンズショップの前のマネキンが着ていた長袖のシャツを購入する。良かった！

市内を1時間近く散策、10時過ぎには今回の旅行の一番の目的であるホーデンメデンプリック鉄道の駅に戻った。本日の列車の運行は一往復で、空いている車両は前方2両のみ、残り4両の客車は

団体予約であることが判明。



機関庫の前に停車中の SL を撮影、ついでに了解を得て庫内で整備中や留置中の SL、DL も撮影する。しばらくすると団体客がぞくぞくと到着、中に日本人の団体さんもたっぷり居た。リタイア組が多いが若い女性の二人ずれも混じっている。

十分に撮影後に定刻を数分過ぎて発車。SL は逆行運転ではあるし、前よりの車両なので撮影にはあまり魅力が無く、ロケハンを主体とし、デッキに立ち通しで乗車する。



最初の停車駅では10分ほどの停車で乗客たちが撮影にいそしんでいたなのでその姿を撮らせてもらう。その後数駅には一旦停車で直ぐに発車であった。

途中数カ所写真撮影に良いかなと思われる場所があったがそこまでのバスの便を考えるとどうしたものか！である。Medernblik 到着直前に風車が有るではないか！！これを入れて撮影しよう！と即決。どうせなら今日の折り返し列車を撮影してバスで戻れば良い！

で、Merdenblik で下車後、SL を一通り撮影し、横の堤防にあがって風で荒れる海も見てから散策を兼ね街中へ昼食を食べに出かける。ホテルのレストランでオムレツの定食を食べた後、先ほど見当をつけた風車を入れた適当な撮影場所を探す。

駅より徒歩10分ほどの踏切に場所を決める。ただ、本日は撮影目的では無かったので三脚が無いので困った。ザックの上においてビデオを撮ることにする。

待つことしばし、13時45分に発車してゆっくりとやって来た SL を無事に撮影後バス停へ向かう。うまい具合に近くのバス停に1



4:10発の Hoorn 行きがあった。バスは回り道をするのだが14:30に Hoorn 駅前に到着。15時着予定の列車よりは早いのだ。

駅に行くと丁度明日の目的地だった Haarlem 行きの電車が止まっていたのでそのまま乗車。

Haarlem ではマルクト広場を抜けたがマー！レストランやカフェの多いこと道路沿いがテーブルだらけである！壮大な聖パフォ教会をながめ目的の白い跳ね橋を目指す。



この地では白い跳ね橋の撮影が目的なので終わると直ぐに駅に引き返し、本日の午後からの目的地だった Leiden へ行くことにする。シーボルトとレンブラントで有名な地ではあるが残念ながら博物館や美術館は17時までなのでしまっている。

では有るが一番の訪問の目的は2基の風車なので駅前から順番に



撮影をして回った。しかし、両足が痛い。右は第4足趾、時々水泡を作るがどうも出来た様だ。左足は親趾の付け根、母趾球部が痛い。靴はゆっくりしており窮屈が原因ではなく、石畳ばかり歩いているためだろうか？

ホテルで一休みと思ってまっすぐホテルへ戻り、足浴とマッサージをして洗濯をして休憩する。20時を過ぎたのでぼちぼち夕食へ出かける。

一日券の有効利用と思い ترامで出かけ、魚料理をたべたがおいしかった。お客さんが大変多く、お店も内部では隣の建物ともつな

がって入り口からはびっくりの広さだった。また、無料 WaFi も魅力かも？

夕食後再び電車で今朝見損なったマヘレの跳ね橋を見に行く。夜間は照明が点くとのことだったが21時半でもまだ明るいので照明付きの橋は見られなかった。電車でホテルへ戻り日記を付けていたら眠くなり就寝す。

6月5日（水）

5時半まで寝ていた。足が痛いのであまり歩かないで良い撮影場所を考えバスの時刻を 9292.nl で調べる。これはオランダ中の乗り物検索が出来るサイトで携帯電話に無料でソフトがダウンロードできる。これは一人旅にはありがたく、なかなか調べられないバス時刻までが容易に解るので今までは使えなかったバスを安心して利用できるのが嬉しい。

グーグルマップで経路検索をするとバスの時刻も出ることも有るがこちらはより詳しく調べられるし、バスルートの途中駅名まで解るので下車駅の把握が十分出来るので秀逸である。

で、撮影場所を **Oostwoud Dorpsstraat** バス停の近く、畑の真ん中を走ってくる姿を撮影することに決定。その後日記を付け、7時半に朝食へ降りてゆく。

ゆっくり朝食を食べていたら日本人のグループ（バッジは無かったが私と同年代のグループ）の声が聞こえた。このホテルは日本人の団体も利用するのだろうか駅前で場所は良いがバスをつけるスペースはちょっと無理なようだが。

朝食時にリンゴを一個いただく。予定通り8時17分発で風車の村として保存されている村？ **Zaanse Schans** を訪れる。駅前からまっすぐに歩くと案内の地図が有り、ゆっくり歩いて15分程で新しい大きな橋を渡ると到着である。橋の上からは風車はもちろん村全体と対岸の緑色に塗られた海沿いの多数の民家が雰囲気をかもしている。一カ所の風車が実際に回っていた。

9時前とまだオープン前だが風車の写真を撮りながら村へ入って行くが昔のオランダの村が保存されているようであるがビクターセ



ンターには寄らなかったなので資料が無い。9時頃になると中国の団体さんがやって来たがうるさいこと！どうかしてくれ！

風車の中を3ユーロで見学がさせていたので中に入る。丁度風車をまわす準備が始まったので遠慮なく横まで行って写真を撮らせて

もらう。その風車の歯車のシステムをゆっくり見て回ることが出来たが木で作られた風車の構造はたいしたものだ。この風車は染料を作るのに使われていたとのこと。

いくつか有る風車の一カ所が製材に実際に使われているがその他は回転していても観光用とのこと。農村らしき風景を撮影後ソフトクリームの大を食べるも外人サイズで量が多すぎた。その後駅へ戻る。

予定より少し早かったので遠回りの経路で **Hoorn** へ向かう。**Hoorn** にはバスの時刻より早く着いたので街中まで歩き、パン屋さんでパンとコーヒーでゆっくり昼食とする。

なるべく歩かないで良い撮影ポイントとして **Oostwoud dorpsstraat** を選んだので12:47発の11番のバスに乗車。約30分で到着。それより5分ほどで畑の中のカーブしたポイントに到着。約40分有りそうで三脚を立てカメラを持つと何とα99のズームレンズを忘れていないか！！がっかりである。予備のNEX7を写真撮影用とし、α99はビデオにセットしてその後は座り込んで待つ。



時々列車がやってくる方面を見ていたが遥か遠くに何となく動く物が見えだした。カメラの望遠でも解らなかったが間違いなく列車であった。早速ビデオとカメラを構え撮影開始である。しかし、周りに何も無いところとは意外に構

図が決めにくいことが解った。

花の季節を期待していたが今年は遅れているようでチューリップの花はほとんど開いておらずがっかりであった。列車は一瞬で通り過ぎてしまう。わずか数分、それでも見通しが良い場所なので長い方であるがはるばるやって来てあつという間である。

バス停まで戻り30分ほど待つ。来た道に戻り **Hoorn** 駅に15時15分着。15時20分発の列車にてチーズ市で有名な **Alkmaar** へ向かう。私の旅行なので当然チーズ市の観光ではなく16時13分発の **Leeuwarden** 行きの350番のバス（Qライナー）に乗るためである。この路線は1932年に完成したかの有名な大堤防を走り抜けるバス路線である。何と2時間強、18ユーロなり。

昨日のうちに本日見物を予定していた **Haarlem** を訪れてしまったのでどこを回ったものかと考え、15:20の列車に間に合ったら大堤防を渡り **Leeuwarden** からの乗りつぶしをしようと思っていたのだった。

バスの乗客は結構多かったが徐々に減って、大堤防を渡るときは5人であった。さすがに大堤防で渡り始めには対岸がほとんど見えない全長約32Kmの距離である。ほぼ直線で途中にモニュメントと書かれた場所があり、駐車場とバス停があり、誰かの銅像が建っていたが乗客がおらず通過であった。降りたら次のバスは1時間後になるので下車は難しい。

堤防の前後の地域は当然平坦で畑は多くが放牧と牧草地であったが面白いことに境界に柵が無いことに気がついた。平坦なのでいずれも水路（堀？）を境界とすることが出来るのだった。

Leeuwarden 駅に18時20分着、思いもかけないオランダの北のはずれの街なのでさすがに駅舎の写真を撮って駅に入る。48分発の列車があったので夕食を仕入れそのまま乗車、サンドイッチを食べていると発車となった。

平坦で住人はほとんど居ないようで駅間距離は長く、しかも大きな街が無いのでICは停まらないのでわずか3駅目で月曜日に回り道した **Zwolle** に着いた。まさかこんな駅にまた来るとは！である。

Amersfoort で乗り換えアムステルダム中央駅に21時に帰着。ホ

テルに戻るとすぐに入浴。つかれたー！！右第4趾の水泡が発達していたのではさみでつぶすと薄い血性の液であった。

荷物の整理を若干して日記を付けて、ビールを飲んで就寝。23時と最も遅くなった。明日はお昼から帰国である。

6月6日(木)

6時前に目が覚めた。まずはニュースとメールのチェックを行う。それから昨日の日記の続きを入力するが昨夜はほとんど入力していなかった。一通り入力を終えると7時前で洗面をして朝食へ行く。



昨日の日本人グループと再び出会ったので尋ねると男一人と女性3人の個人グループとのことだった。朝食後に部屋に戻り薬を飲んでから荷物を預けてチェックアウトする。まずはトラム2番の終点 Nieuw Sloton へ向かう、駅から約35分で、下車後「Molen Van Sloton」の案内板に従って約15分で目的の風車があった。

評判通り景色は良く、周りにレストランも有って市内から出かけるのにもトラムで行けるので悪くはなさそうだった。すぐ横には跳ね橋もあったので写真を撮りトラムの駅へ戻り、ゴッホ美術館の見学へ向かう。

丁度開館時間の10時に到着。幸いに行列は無く、チケットを購入し、バッグを預けてセキュリティチェックを受けて入場である。カメラをバッグごと預けたがなんとここでは一部の絵を除いて(撮影禁止マークあり)撮影が可能であったので失敗だった。一通り見て回ると30分以上掛かっていた。コーヒーショップでコーヒーとチョコケーキを食べー休みしてゴッホ美術館の見学は終了。



荷物を受け取って旧王宮を抜け

てトラム10番へ乗りに行く。この路線沿いにはアムステルダム市街地唯一の風車があるのだ。風車の前で下車、団体のバスも見物にやって来ていたのには驚いたが時間の無いツアー客であろうか。

再度10番のトラムに乗車、途中26番に乗りかえて中央駅へ戻る。ホテルに寄り、荷物を受け取って再び駅へ。空港までのチケットを購入しなくてはならない！人のやり方を観察後にトライ！カードでの購入だがAMEXは使えなかったが無事に購入できた。国に依りやり方が少しずつ違うので面白い

12時39分発。46分着で空港に到着、直ぐにチェックイン、出国手続きをすませた。手荷物検査で引っかかった！今後はパソコンだけでなくカメラや携帯電話も取り出してチェックを受けるように言われた。

一時間ほど時間をつぶし、さらに30分遅れとなって出発。フランクフルト空港には5時45分頃到着。長いターミナルを歩いて歩いてターミナル間移動の車両に乗車、Dゾーンへ移動する。JALの桜ラウンジに席を取り飲み物を飲んで日記を付ける。何と3時間以上有る！眠い！

時間が経ってやっと搭乗開始、予定時刻通りではあるがプレミアムエコノミー席の搭乗手続きはエコノミークラスなので行列が長い。ターミナル内ショップに行、お土産を購入する。

定刻前にドアが閉まる。飛行機が動き出してから滑走路までの長いこと、15分以上も走行後にやっと離陸となる。天気は良好でドイツ上空からコペンハーゲンを経てスウェーデン上空を飛行するのがよく見え、薄暗くなっても地上の町の灯りが転々と見えていた。

6月7日（金）

朝を迎えるとシベリア上空でアムール川の支流が見えた。食事サービス後に日本海上空に達しており、成田への着陸体制となりやっと窓が開けられた。

成田空港では国内線乗り継ぎに約4時間。またまた無駄な時間を過ごさなくてはならない。新聞、雑誌を見て過ごし、うどんを食べて国内線へ搭乗。福岡空港からタクシーで23時前に帰り着いた。